

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	房室中隔欠損症修復術後遠隔期の僧帽弁逆流に対する成人期の再手術
研究責任者	心臓血管外科 安野 優樹 小出 昌秋
研究実施体制	当院のみ
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024年 2月 10日
対象者	AVSD 修復術後遠隔期にMRに対する再手術を行った成人の患者さん 10例
研究の意義・目的	当院で行った AVSD 術後遠隔期の術後遠隔期の僧帽弁閉鎖不全症(MR)に対する成人期再手術症例について、僧帽弁形成術の成績と有効性について検討します。
研究の方法	2002年1月から2023年7月までの間に聖隷浜松病院心臓血管外科に入院し、手術適応はMRIII度以上で症候性あるいは心房細動や肺高血圧合併例、無症候性でも僧帽弁形成術が可能であると判断した患者さんで、全例クレフト閉鎖を中心とした僧帽弁形成術を行い、必要に応じて人工弁輪を縫着している患者さんを対象とします。診療録から後方視的に、術前と直近の心エコー計測、心電図、手術時情報、遠隔期再々手術や死亡の有無についてデータを収集します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 心臓血管外科 (氏名)安野 優樹 TEL:053-474-2222(代表) 心臓血管外科外来 9:00~17:00 平日